



知らないと怖い！！ウイルス性肝炎

7月28日は、日本肝炎デー

肝炎ウイルス感染者（B型肝炎、C型肝炎）は日本で210～280万人いると推測されています（2011年時点）が、その3割の人は自分が感染していることに気づいていないと考えられています。
 肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれるほどがまん強く、肝炎が進行していても自覚症状がないことが珍しくありません。
 肝炎ウイルス検査は、**一生に一度受ければよい検査**といわれていますので、まだ検査を受けたことがない方は、まずは、肝炎ウイルス検査を受けましょう。

1. ウィルス性肝炎とは？

ウイルス性肝炎は、A、B、C、D、E型などの肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。日本においては、B型肝炎ウイルス（HBV）あるいはC型肝炎ウイルス（HCV）感染による肝炎がその多くを占めています。

日本の肝臓がんの約90%は、ウイルス感染が原因です。

【主な感染経路】

B型肝炎ウイルス～主に血液・体液を介して感染（母児感染、過去の予防接種、性的接触、入れ墨・ピアスの穴開け等）

C型肝炎ウイルス～主に血液を介して感染（過去の輸血や血液製剤の投与、入れ墨・ピアスの穴開け、臓器移植等）

40歳以上の方が9割以上を占めていますが、近年では性的接触による若い人の感染も増加しています。肝炎になると、肝臓の細胞が壊れて、肝臓の働きが悪くなります。一部の方では症状が出るがありますが、全く症状が出ないことも少なくありません。最近のウイルス性肝炎の治療は進歩しており、例え肝炎ウイルスに感染していても、医療機関で適切な治療を受けることで、深刻な症状に進行するのを防ぐことができます。現在、ウイルス性肝炎は治る、もしくはコントロールできる病気になっています。

2. どうやったらわかるの？

肝炎ウイルス検査を受けましょう。B型・C型肝炎ウイルスに感染しているか検査するものです。検査は採血するだけで短時間で終わり、結果は数週間でわかります。

《下記にあてはまる方は検査を受けましょう》

- ・これまでにB型・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがない方、結果をご存じでない方
 - ・ご家族にB型・C型肝炎ウイルスに感染している方、肝がんの患者さんがいる方
 - ・健康診断で肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT))の異常を指摘されたが、医療機関を受診していない方
 - ・輸血や大きな手術を受けた方
 - ・入れ墨（タトゥー）を入れたり、医療機関以外でピアスの穴をあけたことがある方
 - ・集団予防接種の際に注射器の連続使用が行われた可能性がある方
- （昭和23年7月1日～昭和63年1月27日までの間）

3. まずは検査を受けてみましょう！！

検査の種類	問い合わせ先
無料の肝炎ウイルス検査 （保健福祉事務所又は委託医療機関） ※自治体によって、無料肝炎検査の実施期間が異なる場合や検査費用の一部を負担しなくてはならない場合もあります。	各県 健康増進課 または保健福祉事務所 ※当院も委託医療機関です
職場の生活習慣病予防健診 （勤務先によっては受けられない場合があります。）	勤務先

もしも、検査で陽性だったら・・・

肝炎に詳しい医師による精密検査を受けることから始めて下さい。

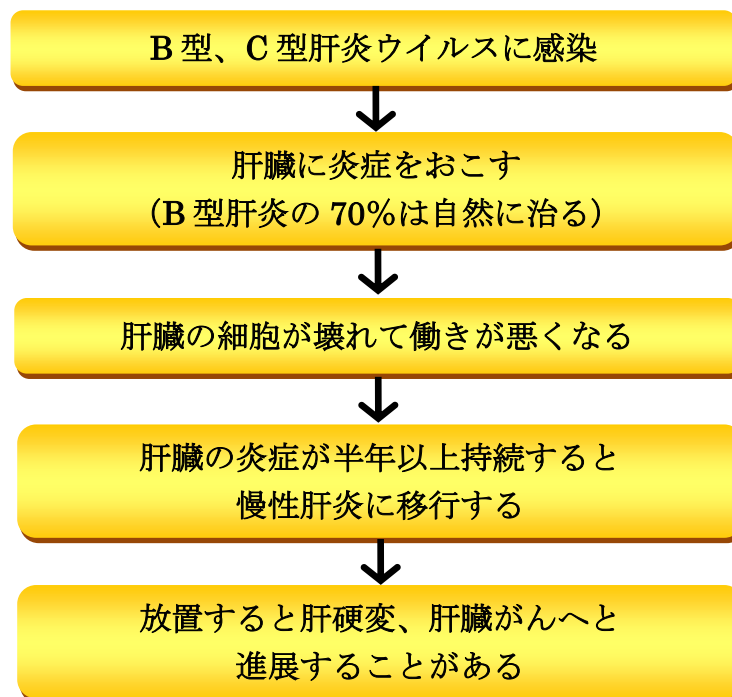
まずは肝臓の状態を確認しましょう。検査や治療の助成制度がある県もあります。

肝炎ウイルスは、体内で主に肝臓と血液中に存在するため、血液に触れる危険性があることを避ける必要があります。しかし、日常生活において基本的な注意事項を守っていれば、感染することはほとんどありません。

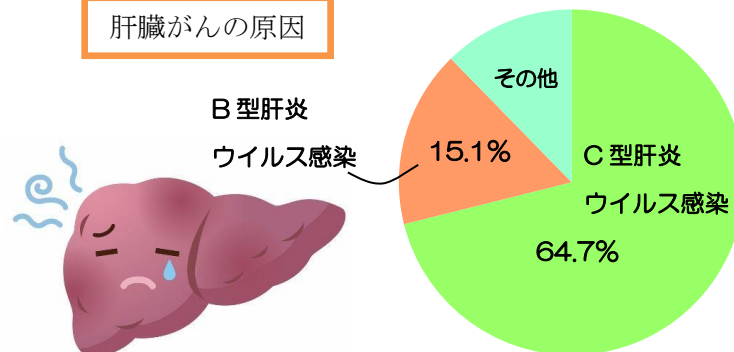
以下のことに心がけましょう。

- ・他人の歯ブラシやカミソリなどは使用しない。
 - ・血液や分泌物がついたものは他の人が触れないよう、しっかり包んで捨てる。
 - ・けが等の手当では、できる限り自分で行き必要があれば医療機関を受診する。
- 会話や握手、会食（一緒に食事をする）等で感染することはありません！

4. 肝炎ウイルス感染後の経過



肝臓がんの原因



5. 利用可能な支援機関

名称	概要
肝炎情報センター	肝炎診療の医療水準の向上や医療技術等の格差の是正を全国的に推進するため、インターネット等による最新の情報提供を行っています。 http://www.kanen.ncgm.go.jp/index.html
肝疾患診療連携拠点病院	肝炎患者等が、居住地域に関わらず適切な肝炎医療を受けられるように、地域の特性に応じた肝疾患診療体制を構築するため整備が進められてきた病院です。 全国に70拠点病院あります。（平成29年4月1日） 肝疾患に係る一般的な医療情報の提供、医療従事者や地域住民を対象とした研修会・講演会の開催、肝疾患に関する相談支援等を行っています。 http://www.kanen.ncgm.go.jp/cont/060/hosp.html
肝疾患相談支援センター	肝疾患診療連携拠点病院内には、肝疾患相談センターを設置しています。同センターには相談員(医師・看護師等)を設置し、患者及び家族からの相談に対応するほか、肝炎に関する情報の収集等を行っています。 また、保健師や栄養士を配置し、食事や運動等の日常生活に関する生活指導や情報提供も行っています。 http://www.kanen.ncgm.go.jp/cont/060/center.html

精密検査や治療に対する助成制度もあります。詳細は最寄りの保健所や拠点病院までお問い合わせください。

《参考》・厚生労働省肝炎総合対策推進国民運動事業。知って、肝炎 <http://www.kanen.org/>
 ・国立研究開発法人国立国際医療研究センター 肝炎情報センター <http://www.jsh.or.jp/citizens/booklet/>
 ・日本肝臓学会 <http://www.jsh.or.jp/citizens/booklet/>